

～地域と育てる未来の力～
竹園東中学校PTAだより
平成29年度 第4号

平成29年9月12日
つくば竹園学園竹園東中学校
PTA本部役員会

PTA公式 mail
info@takechu-pta.org
PTAホームページ
<http://takechu-pta.org>

『PTAだより』は、会議等の報告のほか情報共有の場としても活用してまいります。

第4回実行委員会報告

8月19日（土）於：図書室

矢野PTA会長より

本日は午前中に奉仕活動を行いました。ありがとうございました。次回は11月に行いますのでよろしくお祈りします。7月11日に前回承認された要望書を提出しました。また7月29日には五十嵐市長との意見交換会が行われ、竹園東小の会長が代表して参加しました。その際に中学校小学校の教室不足と施設の老朽化について強く意見していただきました。その場で市長から教育環境の改善は最重要課題であるとの回答を頂きました。また、竹園3丁目再構築の計画が進んでいましたが、残念ながら白紙撤回されました。再構築計画の中で新しい校舎が立つのではないかと期待もあった全体的に再構築していくという計画は撤回されましたが、教育関係の事柄については教育課など関係部署で対応していくことを確認してきましたのでよろしくお祈りします。

片岡校長兼PTA顧問より

本日は奉仕活動にたくさんの方に参加いただきましてありがとうございました。雨が降ったと思ったら晴れるなど天気に振り回されましたが、おかげさまで校舎内や周辺などずいぶんときれいになりました。本当にありがとうございました。9月から子供たちが気持ちよく生活、勉強できる環境が整ったと思います。創明祭を皮切りに音楽祭などもあります。また子供たちの活躍を楽しみにしたいと思います。今日をご審議のほど、よろしくお祈りします。

1. 報告事項

<学校より>

年間行事計画に年4回の土曜授業が記載されていましたが、12月がなくなり、年3回となりました。9月にお便りでもお知らせします。

<本部より>

①市教育委員会関連への要望の提出について（市P連関連）

前回承認を受けた要望書に文言の修正や写真を付けるなどしてある。今回、竹園西小東小とまとめて提出しました。

②来年度の市P連事務局の竹園学園3校の役割分担について

来年度、つくば市PTA連絡協議会の事務局を竹園学園3校が担当することになっており、3校にて事務局が中学校、女ネットが西小、講演会が東小で担当すると打ち合わせを行いました。

③第3号PTAだよりを7月14日に発行しました。

④PTA奉仕作業の、今年度1回目を、8月19日（本日）行いました。

⑤要望書の提出についての追加説明

今回、市P連に提出した要望書は、今年度事務局の谷田部中の会長が要望書の内容について、それぞれの担当部署への仕分け、すり合わせを行ったうえで市に提出されることになっています。

<各委員会より活動報告>

本部	7月1日	第3回役員会・実行委員会
	7月7日	「PTA奉仕作業(除草)と資源物回収のお願い」配布
	7月14日	PTAだより第3号発行
	7月19日	奉仕作業参加者取りまとめ・飲み物準備

	8月5日 8月6日 8月9日	指導者講習会出席(石岡市) 講演会出席(市民ホールやたべ) 保健所へ「食品提供施設開設届」提出
7 学年委員会	7月1日 7月4日 8月8日 8月10日	第3回実行委員会 第4回学年委員会(創明祭打ち合わせ) 夏季PTA 授業参観・懇談会受付、懇談会司会 本部問い合わせ 店舗問い合わせ
8 学年委員会	7月1日 7月4日 7月14日	第3回実行委員会 第4回学年委員会 授業参観・懇談会受付、懇談会司会 創明祭用のパンの発注完了
9 学年委員会	7月1日 7月4日	第3回実行委員会 第3回学年委員会 夏期PTA 授業参観・懇談会受付、懇談会司会
広報委員会	7月1日 7月5日 7月6日 7月14日 7月18日 7月19日	第3回実行委員会 再校依頼 校正終了、印刷依頼 「竹園」110号納品、支払い 仕分け作業 「竹園」110号配布
ホームページ 委員会	7月14日 7月21日 8月8日	平成29年度PTAだより第3号を掲載 選考委員会メーリングリスト更新 PTA奉仕作業への参加のお願いを掲載
保健校外 委員会	6月28日 7月27日	第1回つくば竹園学園校外安全協議会 ・各学校の防犯・安全活動についての報告 ・昨年度の要望箇所に関する現況確認と問題提起 ・学校、竹園学園から提出する要望内容についての確認 第1回学校保健委員会出席 第3回委員会 ・まつりつくばの巡回場所確認・決定 PTA室清掃
研修委員会	7月1日	第3回実行委員会 打ち合わせ(イベント「和太鼓」並びに創明祭について)
家庭教育学級 委員会	6月27日 7月1日 7月5日 7月17日 7月20日 7月21日	家庭教育学級設立報告書の作成, 提出(つくば市へ) 第1回講座について岩村先生との打ち合わせ(委員長) 第3回実行委員会出席(正副委員長) 会計説明会・準備金受取り(会計・創明祭担当) 開級式及び第1回講座開催 「No!と言える交際関係～対等な関係を築くために～」 PTAホームページへの活動報告掲載依頼 第1回講座アンケートまとめ 家庭教育学級受講報告書の作成, 提出(つくば市へ) 第1回講座講師へのお礼状作成, 送付
女性ネットワー ク委員会	7月1日 7月8日 7月中	第3回実行委員会 講演会出席(大洗文化センター) 講演会報告書作成・HP掲載依頼 創明祭パネル作成

2. 審議事項

①選出委員会の発足について【副会長】

本日発足する選出委員会にてまずは本部役員候補の募集を行う予定
本年度との役割等の違い

- ・来年度の会長は市P連の代表となる。
- ・来年度の副会長2名のうち1名は、教頭先生と一緒に市P連事務局の仕事を行う。
それにより副会長の仕事が大変になるので、来年度は副会長を3名にしたい。
- ・来年度の総会で、副会長は2名とされている会則の改正を承認してもらい、3人目の副会長の選出、承認までを行う。

→上記の提案について、拍手にて承認

各種委員会の選出に伴うHPの活用について【副会長】

各委員会の活動内容が分かりにくく応募しにくい現状があるので、各委員会の活動内容をHPを活用して情報発信していくこと提案したい。早速本日の奉仕活動の記事をHPに載せる予定。記事のフォーマットなど送付するので見ていただき意見を頂き、今年度より試行したい。

質問→記事については随時掲載するのか。

回答（副会長）→載せたいことがあれば随時行う。各委員会で年2、3本の記事があれば総合的に月1~2回のHPの更新が見込めるのでは。

（会長）→写真に合わせて記事を数行書くだけの、負担の少ない形態にしようと思っている。

意見→HPを活用しても普段見てない人はやはり見ないのではないかと。HP見てくださいという案内を合わせて行うことが必要なのでは。

→上記の提案について、拍手にて承認

②第2回目のアンケートについて【副会長】

会費の値上げについては除草作業を外注化するには、最低でも500円の値上げが必要となるので、値上げ金額については500円から設定する。

意見→値上げ前提であれば、年間500円の値上げと記載せず、月〇〇円としたほうが抵抗が薄れるのでは。

矢野会長→PTA会費について、現在どのくらい払っているのか把握していただくためにも、年額で記載したい。

→上記の提案について、拍手にて承認

3. 討議事項

①PTA組織の見直しについて【会長】

前回のアンケートや各委員会から頂いた意見を参考にして、PTA活動の見直しを考える中で、除草作業の外注化は特に進めていきたいが、現状、会費を値上げしないといけないことは明らかである。その中でも現在の予算から見直しを行えるものを探したところ、現在年2回発行している広報誌に目が留まった。現在の広報委員会の予算33万円のほとんどを印刷費が占めているため、年1回だけ印刷して、2回目はウェブ掲載にすることへの意見を聞きたい。また、ほかの委員会についても、削減できるところなど意見を出していただけたらと思う。

広報委員会の意見

→発行する広報誌の1回をウェブ掲載にすることでの委員会内での負担はそれほど変わらない。現在の印刷会社には年2回で「予算はこれで」と、こちらから提示して無理してやってもらっているため、年1回の印刷にすることで単純に予算を半分にするのは難しいと思う。逆に印刷費を値上げされることも懸念される。

→ウェブで掲載する広報誌が印刷するものと同じ形式で作るとなると取材などの手間は変わらず、活動内容の負担を減らすことにはならない。

小学校では年1回広報誌を発行して、その後はHP上にその都度記事を掲載していくことをしていたので、そのような形式であれば負担は減らせると思う。

HP委員会の意見

→ウェブにて掲載することは可能ではある。現在の広報誌がレイアウトまで印刷会社に依頼している場合は、ウェブ掲載の際には自分たちでレイアウトしないといけなくなる為、レイアウトまでHP委員で行うことになるのかなりの負担となる。

掲載されている内容について、受験情報などは個人が特定される可能性もあるので配慮が必要ではないか。→その都度記事を載せることも学校のページを参考にして可能ではあるが、広報誌として誰に何を伝えるためのものかをはっきりすべきではないか。たとえばPTA活動である奉仕活動の様子は広報誌には載らない。本来はPTA会費がどのように使われているかを伝えるなど、PTAの活動を伝えることのほうが重要なのではないか。

中嶋副会長

→竹園地区全体に言えることであるが、広報誌がPTAの為の広報誌として機能していない。子供の活動の紹介に偏っているのは確かであり、考慮してほしいと思っている。皆さんが自分たちの子供がどのような活動をしているかに一番興味を持っているので、そこを取材したいのは分かるが、(極端に言えば)今の広報誌の内容では予算をかけるのはやめたいとも思う。PTAの広報には全くなっていない。

このことは小学校の会長をしているときから言い続けているが変わらないのであきらめの気持ちもある。

矢野会長

→第1回目広報の内容については先生の紹介などもあるので特に興味があり紙で持っておきたいと思う。また小学校の広報誌では各委員会についての紹介などのページもあるので、そういうページがあると選出の際にも参考になると思う。なので年1回の広報誌の発行はぜひ続けたいが、2回目はウェブでもいいのではと思い提案したが、活動を紹介したいというのであれば、その都度HPに掲載してHPを見ていただくことを案内していくという方法もいいのではないかと思う。このことは来年度の選出にも関わってくることなので議論を続けたい。

②PTA組織の見直しについて【副会長】

現在、各委員会にて創明祭の(専任)担当を決めて活動を行っている委員会も多いようであるが、創明祭の専任の活動は本来の委員会の活動とは違うものではないかと思う。

そこで各委員会から創明祭担当を分離して、創明祭委員(行事委員会)を設立して活動したほうが各委員会の人数も減らせるのではないと思うのだが意見をお聞きしたい。

7学年委員会

→それぞれの委員会として創明祭に出店するのは委員会の活動の一環としての意義が理解できるが、独立して行うとなると出店する意義が分からなくなる。

8学年委員会

→現在の活動内容を考えると各クラス2名という現在の人数は変えたくない。

9学年委員会

→学年委員の仕事としてクラス懇談会の司会などやらなくてもいいのであれば人数を減らすことは可能であるが、そうでないなら現在の人数は必要である。

広報委員会

→広報委員は創明祭の出店はせずに取材を行うので、現在の人数は必要である。

保健校外委員会

→創明祭での出店はないが、現在の人数は必要。

研修委員会

→活動内容から考えると現在の人数（15人）は多いとは思いますが、委員の人数を減らすと委員になる人の人数が減り、委員をせずに卒業する人も増えてしまうのでそれが良いのかという思いがある。

女性ネットワーク委員会

→現在委員内で委員長以下それぞれの担当を決めているが、年3回ある講演会に2～3名ずつで分担して参加しており、会場が遠い講演会などもあるので現在の人数が必要。

家庭教育委員会

→現在創明祭担当の方を中心に準備を頑張っているが、仮に創明祭への参加がなくなったとしても人数を減らすことは難しい。

各委員会内で、創明祭の準備を全員で行っている委員会に挙手してもらったところ、HP委員会を除く全委員会が挙手した。

研修委員会

→今年度は、研修委員会にて創明祭の準備を全員でやりましょと盛り上げて、全員で行ってはいいるが、人数は多いと思う。

③その他【副会長】

連絡網について、学校で作ってもらえないか、協議中である。学校にて検討を行ってもらうことになっている。

4. 連絡事項

(1) 学校より

①創明祭について

冷蔵庫、配膳室鍵、台車の利用と、ごみ処理についての注意事項

冷蔵庫は配膳室と旧配膳室（PTA室の隣）の2か所ある。旧配膳室の冷蔵庫はいつも使用できるが、教室棟の配膳室は給食が終わってからしか使用できないので注意が必要。

台車については配膳室に食品用、倉庫に物品用があるが、区別して使用して下さい。

長机はPTA室にあるものを使用して下さい。ゴミについては、きちんと分別していただき、燃えるごみは教室棟のごみポットに置いて、段ボールなどの資源ごみは旧配膳室にと、分別についても協力をお願いします。

(2) 各種委員会より

①HP委員会より HPの更新をしたいので、PTA会長名で出す文書についてはHPに載せたいので、庶務を通じて送付してください。

(3) 本部より

①来年度の総会の日程 4月28日（土）午前に決定した。

②創明祭について【庶務】

- ・駐車許可証配布
- ・保健所への検便提出済み（本部関係者のみ）
- ・『イベント等における食品提供施設開設届』を保健所に提出済み（庶務）
- ・各委員会創明祭感想・反省点提出10/6（金）庶務宛てメールにて送付をお願いします。書式は各委員会にファイルで送ります。

③創明祭について【会計】

創明祭用消耗品を該当委員会へ配布

④学校行事写真販売について（継続）【副会長】

本年度も、木村写真館さまにご協力いただき、スポフェスの写真撮影をしました。創明祭の写真撮影も含めて、後日まとめてネット販売をいたします。

⑤家庭教育実践事例集「愛の記録」第51集原稿募集について（継続）【副会長】

原稿募集期間 7月1日～9月5日

原稿枚数 400字詰め縦書きで4枚以上5枚以内

⑥書き損じはがき回収活動について（継続）【副会長】

期間 9月1日～9月29日

回収箱をPTA室に常設

各家庭1枚を目指して欲しい。

2018年2月にも回収を予定。市P連の収入源となりますのでご協力下さい。

⑦PTA奉仕作業（継続）【副会長】

2回目 11月18日(土)（予備日11月19日）

資源物回収と校内清掃等

⑧PTA室清掃について【庶務】

9月：女ネット、HP、家教 10月：広報

平成29年度第5回実行委員会開催予定 10月14日(土) 10:30～ 図書室

5. 第1回アンケート「PTA全般に対する意見」に対する回答【会長】

第1回のアンケートへ回答いただき、ありがとうございました。その中の「PTA全般に対する意見」欄に記載された、質問や意見に回答します。

「PTA全般に対する意見」欄に38件の記載があり、そのうち半数の19件は謝意や応援、保護者同士の交流は必要など好意的な意見でした。ここでは残りの半数の意見に対する回答を記載します。括弧内は同様な意見の数を表しています。

・入会意思確認を行ってほしい

回答：PTAは保護者と教員が、生徒の成長のために共に考え活動するためにも必要な組織です。学校運営に必要な財源を公平に負担していただくため、PTAへの入会は全員にお願いしています。入会しない人がいますと、会員と非会員との間にサービスの提供に差をつける必要がでます。ところが現在、PTA会費の大半が学校運営に使用されているうえ、学年委員主催の講演会と研修委員会主催の講演会は授業に組み込まれていて全生徒が恩恵を受けています。これらの活動は外部講師探しと開催準備全般を保護者が手伝えることで先生の負担を軽減し、生徒に貴重な研修の機会を与える教育的意味があります。会員と非会員で生徒の授業の内容に差をつけることは不可能です。よって任意加入でありながら、全員加入をお願いしているということになっています。根本的な問題は教育予算の不足です。PTAの予算と保護者の労力で補わなくてはならないほど、教育予算は少ないのです。市への要望書の中で教育予算の増加と先生の負担削減もいれております。保護者の皆様には会員として少なくとも会費の納入へのご理解をお願いしたいと思います。

次のご意見にも関係しますが、問題は、役員・委員の負担だと思います。都合によりできない人にまで無理にお願いすることになってしまうことにより義務感と不公平感が生じ、入会への抵抗を生んでいる可能性もあると考えています。公平性に配慮しつつ、無理強いすることがないように、選出委員会で工夫していく予定です。

なお、入会意思確認については昨年度もアンケートで意見が寄せられました。昨年度会長が回答した内容が平成28年度PTA便り第3号

<http://takechu-pta.org/wp-content/uploads/2016/07/pta-news-201603.pdf>

に詳しく記載してありますのでこちらも是非ご一読ください。

- ・PTAが負担に感じる
- ・活動を縮小する方向で見直すことは必要
- ・中学校のPTAは創明祭への参加があり、下の子がいる保護者には荷が重い

回答：本校PTAは一子一役以上をお願いしていますが、これは義務ではありません。ご家庭やお仕事など様々な事情で、委員を引き受けられない方もいらっしゃいます。そのような方にはできる範囲でPTA活動に参加していただくことをお願いしています。また、数年前までは、ほとんどの会員が何らかの委員を経験するようにするため（負担の公平化のため）、委員数を増やしてきました。その結果、本校PTAの委員数は全会員の70%に達しています。現状では選出に困難を伴うことから、昨年度から委員数の見直しを進めているところです。

・小中で一子一役にすべき（2）

回答：小学校の委員数は全会員の約80%になっています。先の本校の委員数（残りの20%では中学校の学年委員の数も満たせません）を踏まえると、小学校でも大幅な委員数の削減をおこなわない限り、「小中で一子一役」は数字的に難しいということになります。

- ・懇親会の補助は廃止し、子供のために使ってほしい。（3）
- ・除草作業を外注する話はどうなったのか？（2）

回答：懇親会の補助については今年度初めて実施しました。懇親会への参加者を増やすことが目的でしたが、10名の増加にとどまりました。このため、予算の余剰分は懇親会の補助ではなく学校のために使う方向で検討しています。また、除草作業の外注についても必要十分な金額の見積と、その予算確保について会費の値上げも含めて検討中です。

・副委員長が2人いる委員会があるのはどうしてか？

回答：7学年には副委員長が2名います。7学年のクラスが3クラスから5クラスに増えたときに副委員長を2名選出したことが見直されなかったためです。来年度からは7学年も副委員長は1名とする予定です。

・各委員会の副委員長より選出委員になった方が任期も長く大変そうなので、選出委員にもポイントがつくといい。

回答：将来の委員選出が困難になるため、ポイントを増やすことには賛成できません。逆に、ポイントの縮減はあり得ます。例えば現在、正副委員長は全8回の実行委員会への参加をお願いしていますが、この約束を変更し、議事内容を完全に引き継ぎをすることにより、実行委員会への参加を委員全員で交代可能ということにして、公平に1ポイントとする手もあると思います。また、本部の終身ポイントを2ポイントにすることなど、ポイントを減らすことも検討すべきかもしれません。様々な意見があるところで、引き続き選出委員会で検討をしていきます。

・連絡網があるとよい

回答：緊急メールで配信となったこと、連絡網の目的外使用について学校へのクレームがあったために、3年前から連絡網の配布がなくなりました。学校と協議したところ、クラス生徒の氏名の配布は可能との返事を受けていますが、連絡網について配布再開ができるかどうかは要望次第という学校からの回答も得ています。引き続き協議を続けています。

・授業参観時に受付で借りる名札(胸につけるタイプ)の代わりに、小学校で使っていた首から下げるタイプの保護者証を使うことは可能ですか？

回答：可能です。来年度から小学校からの保護者証を引き続き使うことを検討中です。

・総会で制服の質問が出ていましたが、下がフリーなのでVシャツはそのままの方が良いと個人的には思います。夏場はポロシャツ等にしていただけると子供たちも暑さが軽減されるのかなと思いました。

回答：服装については学校が決めることであり、生徒の評議員会で議論した結果、現状維持という回答を得ています。

・行事全般に楽しさがない

回答：かなり昔には、PAT行事に保護者同士が交流する行事がありましたが、PTA予算をできるだけ子供のために使ってほしいという希望が強いことや、交流行事の参加者減少により、今は子供たちの教育環境に必要な活動だけになっています。委員会の中で家庭教育学級委員会は保護者の交流を積極的に進めることができる委員会です。家庭教育学級委員として新たな発想で楽しい活動を提案してくださることを期待します。また、保護者の交流を目的としたボランティア活動を行うことも可能です。現在、図書と制服リサイクルの2つのボランティア団体が活動しています。これら以外で新しいボランティア活動をしてみたい方は、本部役員に相談してください。さらに、楽しく参加でき、親子や会員間の交流に役立つ新たな行事の可能性をお聞きするアンケートを実施します。ぜひ積極的にご意見をお寄せ下さい。

・PTA活動についての情報発信が少ない

回答：現在、家庭教育学級、女ネットについてはHPに活動報告が掲載されています。他の委員会も活動内容がわかるようにイベントごとに簡単な報告記事を掲載するように試行します。

・駐車場を整備してほしい

回答：学校に確認したところ、教室棟側の砂利駐車場を利用してくださいとのことです。

なお、今回の回答内容に、ご意見・ご質問がある場合は、info@takechu-pta.org へご連絡下さい。